

日頃より北陸労働金庫に対しまして格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年能登半島地震から2年半、奥能登豪雨から2年が経過しようとしています。改めてお亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。昨年に引き続き、復興応援定期預金「結1」「結2」「結3」の義援金として、北陸三県に1,070万円寄付させていただきました。今後も被災された方々に寄り添い、当金庫らしい先を見据えた復興支援に努めてまいります。

国内経済・市場は、日本銀行による政策金利引上げが進む中、「金利のある世界」へと変化し、各国の通商政策や物価上昇等々、見通しが読めない状況にあります。また、中東情勢の緊迫化による、原油価格の上昇は、企業・家計への影響が大きく、中長期的なインフレ基調が進む恐れもあります。

一方、北陸の景気は、一部に弱めの動きもみられますが、個人消費は、物価上昇の影響などがみられるものの、持ち直しています。また、住宅建設、生産、雇用情勢も緩やかに回復しています。

取り巻く環境は、少子高齢化・人口減少の加速、自然災害の頻発や国際情勢の悪化、そして物価上昇による家計への負担増加等、経済環境への先行きは不透明な状況となっています。

2026年度は、第9期中期計画の初年度、そして北陸労働金庫創立25周年の節目の年となります。【みんなが笑顔になれるくろうきん>へ～地域とともに、豊かな未来を～】を3ヶ年ビジョンに掲げ、「生活応援運動」「グッドマネー運動」を展開し、SDGs



のスローガンである「誰ひとり取り残さない」取り組みを実現し、皆が共生できる地域社会への貢献に寄与する活動を展開します。

また、職員一人ひとりが心身ともに健康で働き続けることができるよう、より良い職場環境の整備に向け、役職員等の健康増進に取り組みます。

今後も勤労者のための福祉金融機関として使命を果たし、役割が発揮できるよう、全力をあげて取り組んでまいります。

皆さまには今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年7月

理事長 西田 満明

当金庫の概況

(2026年3月末現在)

名称	北陸労働金庫
所在地	石川県金沢市芳斉2-15-18
設立	1954年5月1日 (2001年10月1日合併し、北陸労働金庫発足)
店舗数	25店舗(富山県8、石川県10、福井県7)
常勤役職員数	460人
団体会員数	1,637会員
間接構成員数	385,242人
出資金	39億98百万円
預金残高	8,187億11百万円
貸出金残高	5,420億41百万円

全国ろうきんの概況

(2026年3月末現在)

金庫数	13金庫
店舗数	590店舗
常勤役職員数	11,146人
会員数	93,163会員(うち団体会員数46,160会員)
間接構成員数	12,100,324人
出資金	967億21百万円
預金残高	23兆621億円
貸出金残高	16兆3,118億円